

今後の活動内容について

東日本建築教育研究会 資格取得推進委員会

資格、検定試験に関するアンケートでは、多くのご意見、ご要望をいただきありがとうございました。

アンケート結果をもとに、今後の活動内容を検討させていただきました。その結果、下記の内容を中心に今後、活動していきたいと考えています。

今後、特に重点を置いて、生徒に指導していく資格や検定試験のアンケート結果では

1	2級建築施工管理技術検定試験	64校
2	CAD検定関係	37校
3	技能士（建築大工）3級	34校
4	福祉住環境コーディネーター3級	23校
5	車両系建設機械運転技能者	16校

でした。

**そこで本委員会では、
「2級建築施工管理技術検定試験」の
取り組みを中心に活動していきます。**

「2級建築施工管理技術検定試験」受検者増加に関する取り組み

① (財)建設業振興基金と(社)建設産業専門団体連合会(建専連)訪問の報告

本研究会、埼玉大会総会終了後の8月10日(月)に「2級建築施工管理技術検定試験」受検者増加の相談をするため、(財)建設業振興基金と(社)建設産業専門団体連合会(建専連)を訪問しました。

アンケート実施の理由、及び、結果について説明させていただき情報を共有することができました。

アンケートのご意見、ご要望に対する具体的回答はいただきませんでしたが、高校生の受検状況の説明と指導職員の考え方を伝えられたことは有意義だったと思います。

今後も定期的に訪問させていただき、協力体制を強化していきたいと考えています。

(財)建設業振興基金の回答

- 1, 高校生にも積極的に試験に挑戦してもらいたい。
- 2, アンケート内容で、高校生の合格率と全体の合格率を比較しているが公表されている合格率は「建築」「躯体」「仕上げ」の結果、全てを含んでいるため一概に比べられない。
- 3, 高校生の受検環境を整えるために、先生方の講習会参加は有意義である。積極的に参加してもらいたい。

- 4, 施工管理技術者検定試験は国土交通省大臣指定試験で建設業振興基金（建築、電気）と（財）全国建設研修センター（土木、管工事、造園）で実施している。試験実施要項等の変更は、建設業法の法改正が必要のため関係機関との連携が重要である。

(社)建設産業専門団体連合会(建専連)の回答

建設業界は、若年者の入職が少なくなっている。そこで、若年者雇用促進のため「建設技術者の人材確保・育成に関する提言」をし、様々な支援、援助を通して業界の発展の為に活動している。高校生の資格、検定試験への取り組みも重要だと考えている。

高校生に関する具体的提言内容

- 1, 技術資格を有している入職者への支援（初年度予算 500 万円）
窓口：建専連
- 2, 工業高校教師への技能訓練実施支援（初年度予算 100 万円）
窓口：富士教育訓練センター
- 3, 工業高校への講師派遣及びインターンシップ制度への支援
窓口：建設業振興基金

②情報提供と地域連携の確立を目指して

多くの学校が、合格者が少ない事に悩んでいることが分かりました。他校の取り組みの状況を知りたいという意見も多数あります。

合格率の高い学校の協力を得て、取り組み状況等の紹介をホームページに掲載したいと考えています。

③試験に関する情報提供

本研究会の来年度、福島大会総会で、富士教育訓練センターの協力を得て、「2級建築施工管理技術検定試験」に関する情報提供を計画しています。

④ジュニアマイスター顕彰制度のポイント数、増数の結果報告

3年前より、国家試験の学科受検が認められ、試験内容も難易度を増しているが、「建築施工技術者試験」の12ポイントのまま据え置かれています。

上位の資格として認められたためジュニアマイスター顕彰制度のポイント数も増えるべきだと考えます。

(社)全国工業高等学校長協会にジュニアマイスターに関する協議書を土木と一緒に提出しましたが、回答は現状維持の12ポイントのままでした。

今後も継続してポイント増加の要望をしていきたいと思っています。

その他の資格、検定試験への取り組み

「2級建築施工管理技術検定試験」以外の資格、検定については、各校の取り組みが多岐に渡るため本委員会として取り組むべき内容を決める事が困難でした。

検討の結果、要望があれば、「福祉住環境コーディネーター検定試験」に関連した、バリアフリー建築等の見学会の開催を検討しています。見学内容は建築物や施設、福祉用具等の見学を考えています。

(本委員会では平成15年の夏休みにバリアフリー住宅の見学会を実施しています。)

建築系高校生徒体験実習

本委員会では、2004 年度より富士教育訓練センターの協力をいただき、標記体験実習を夏休みに3泊4日で実施しています。

実習内容は安全教育、足場、鉄筋、型枠、測量、鉄骨組立作業等で、富士教育訓練センターの広大な実習場で指導していただいています。

宿泊による集団生活を通して、建築現場で最も大切な安全確保・協調性やコミュニケーション能力の育成もされています。

参加した生徒に感想を聞くと、厳しい指導ではあったが充実した体験ができ、大変勉強になり良い思い出ができたと言っていました。

来年度以降も継続して実施していきたいと考えています。



測量実習



クレーン操作見学



鉄骨組立実習



配筋・型枠実習

上記、活動内容が一つでも多く実現できるように取り組んでいきたいと思っています。ご理解、ご協力をお願い申し上げます。